

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本記録会に適用する規則は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会規定により行う。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、サブトラックを使用すること。
- (2) フィールド種目の練習は、招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。
- (3) サブトラックでの投てき練習は、一切禁止する。

3 招集について

- (1) 招集所は、雨天練習場に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
 - ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。
その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳・やり投 12mm以内、その他 9mm以内）の点検を受け、腰ナンバーを受け取る。
 - ②点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の検査）を受けておくこと。その場合に限り、代理人の点呼を認める。
 - ③招集完了時刻に遅れた競技者は、出場出来ない。
 - ④当該種目を欠場する者は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。
* 多種目同時出場届、棄権届は、招集所備え付けの用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技
 - ①レーンは、プログラム記載番号順とする。
 - ②スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートをした者は失格とする。
 - ③競技運営上、男子 1500m=6分、5000m=20分、3000mSC=13分。女子 1500m=7分、3000m=15分で競技を打ち切る場合がある。
- (2) 腰ナンバー・別ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。
- (3) フィールド競技
 - ①試技順は、プログラム記載番号順とする。
 - ②走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	1組	練習 1.30	1.35-1.40-1.45・・・1.80-1.85-1.90	以後3cmずつ
	2組	練習 1.50	1.55-1.60-1.65・・・1.80-1.85-1.90	以後3cmずつ
	3組	練習 1.70	1.75-1.80-1.85-1.90-1.93-1.96-1.99	以後3cmずつ
女子走高跳	1組	練習 1.15	1.20-1.25-1.30・・・1.55-1.60-1.65	以後3cmずつ
	2組	練習 1.30	1.35-1.40-1.45・・・1.55-1.60-1.65	以後3cmずつ
	3組	練習 1.40	1.45-1.50-1.55-1.60-1.65-1.68-1.71	以後3cmずつ
男子棒高跳	1組	練習 1.80~3.80	2.00-2.20-2.40-2.60-2.80-2.90-3.00	以後10cmずつ
	2組	練習 4.00~5.00	4.00-4.10-4.20・・・4.80-4.90-5.00	以後10cmずつ
女子棒高跳	練習 1.80~3.80		2.00-2.20-2.40-2.60-2.80-2.90-3.00	以後10cmずつ

5 競技用具について

- (1) やり・ポール以外は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。この場合共用となる。
 検査時刻 女子=第1日(8日) 1組-8:00~8:20 2組-9:30~9:50
 男子=第1日(8日) 1組-11:10~11:30 2組-12:50~13:10 3組-14:30~14:50
 検査場所 フィニッシュ地点側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。

6 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1種目につき500円を添えて庶務係まで申し出ること。
- (2) ゴミは、各自で持ち帰るようにご協力ください。